平成 29 年 3 月発行

愛 媛 生 協 病 院 病 児 保 育 室

わたぼうしだより　第 8 号

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになり、病児保育室わたぼうしの利用者数もだいぶ落ち着いてきました。

今年は年明けより、インフルエンザＡ型の流行が始まり、１月は 75 名（インフルエンザＡ型 50 名）、２月は 107 名（インフルエンザＡ型 86 名）のご利用がありました。

病児保育室わたぼうしは、昨年 11 月で開所３年を迎えました。スタッフは開所当初よりほぼ変わっておりません。今後もお子さん、保護者の方が安心して利用できる病児保育室わたぼうしでありたいと思います。よろしくお願いいたします。

＜今月の製作＞

保育士よりひとこと

お子さんの状態に応じて安静にしたり、お子さんが好きな遊びや製作が出来るようにしたりしています。3月の製作は、桜と蝶、お雛様の手形アートをしました。病気の時に、お子さんがまた”わたぼうしにいってもいいかな”と思ってもらえるような環境をこれからも作っていきたいと思います。随時、玩具も増やしています。

看護師よりひとこと

入園、入学を迎え、環境が変わるお子さんも多いと思います。入園後は初めての集団生活で、初めての経験とともに、いろんな病気をもらってきます。朝起きると「また熱がある。」と子どもを心配しながらも ”そう毎回仕事は休めない。”と私自身も葛藤しました。３歳頃より、熱を出す回数もめっきり減りました。きっと大丈夫です！風邪の種類は 100～200 種類あるそうですよ。

＜病児・病後児保育事業の広域利用開始について＞

平成 28 年 11 月１日から、松山市の病児・病後児保育実施施設を伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町のお子さまも利用できるようになり、松山市のお子さまは、東温市の石川小児科と松前町のむかいだ小児科の病児・病後児保育を利用できるようになりました。ご利用方法については実施施設やお住まいの市町に直接お問い合わせください。

＜お知らせ＞

・年度ごとに様式第１号の書き換えをお願いしていましたが、今年度は氏名や住所が変更の方のみお願いします。

・パニックになる、個室に長い時間いるのが難しい、支援学級に通っているなど配慮が必要なお子さんは、登録時、ご予約時に必ずお知らせ下さい。スタッフの体制を整えるために必要です。

・４月から毎週金曜日午前と第２・第４土曜日午前の小児科外来の診察は愛媛大学医学部附属病院の小児科医師の診察になります。その時間帯は有田医師の診察はありません。

病児保育室わたぼうし：961－1307